



勝山高校蒜山校地 学校新聞

ひるこう タイムズ

第210号 R3. 5. 25

毎月25日発行

勝山高校蒜山校地 情報・広報室
katuyama-hiruzen@pref.okayama.jp

☆ひるこうタイムズ記者
(取材・記事の執筆・撮影)

2年生：T.R・M.K

3年生：M.M・K.H

H.A

蒜山ABC部 (文化部)

☆は生徒が、○は教員が書いた記事です。

☆ 新入生研修 インタビュー

四月二十三日金に、「はにわの森」で新入生研修が行われました。その感想を、新入生に聞いてみました。

1. 今回の校外研修で、特に印象に残っていることは何ですか？
自分たちで初めてピザ窯を作り実際にピザを焼いて、みんなで一緒に食べたことです。ピザ窯作成に当たって、どのような形にするのかなど、違う中学校出身の生徒とも会話をかわすことができました。
2. 初めての校外研修でしたね。活動を通して、何を感じましたか？
今まで当たり前のように食べ物をいただいていたけれど、食べ物を作る大変さや、「食」のありがたみを感じました。また、初めてのグループワークも、今まであまり話せていなかったクラスの仲間とも話すことができ、とても楽しかったです。
3. 今回の研修は、学校生活の中で、どう活かせるでしょうか？
目隠しをして相手のところまで走っていくというレクリエーションがあったのですが、最後まで相手を信じて、勇気を出して向かうことができなかったので、今後の学校生活では、勇気を出して積極的に行事や課外活動などに参加していきたいです。



☆ 蒜校 Discovery

腰が赤いので、「コシアカ」なんだそう。



コシアカツバメ

Illustrated by M.N

寒さもやわらいできて、今年もツバメが子育てをしに戻ってくる季節となりました。蒜校にも、例年通り多くのツバメがやって来ています。

さて、ツバメにはいくつか種類があることをご存知でしょうか？ 蒜校に来ているツバメは「コシアカツバメ」という種類で、名前通り腰の部分が赤色をしています。普通のツバメより繁殖地が少なく、少し珍しいツバメです。

巣の形にも違いがあります。普通のツバメがおわん型の巣を作るのに対し、コシアカツバメはとっくりを半分に割って天井につけたような形、通称とっくり型の巣を作ります。また集団で巣を作る習性があるため、蒜校では多くの巣が見られます。

コシアカツバメは10～11月頃まで姿を見ることができます。この機会に少し観察してみてはいかがでしょうか。

当り前のような、何気なく景色の中に、新たな発見があるかもしれない。

蒜校の「今」をお伝えする新企画その1・「蒜校 Discovery」の1コーナーです。今回は、蒜山に春の訪れを告げてくれる、あの鳥にスポットを当ててみました。

5・6月の日程

◎緊急事態宣言延長の場合、行事予定が変更されることがあります。

☆5月

26日(水) スクールカウンセラー来校日

31日(月) 1学期中間考査(～6/2)

☆6月

3日(木) 歯科検診(5限～)

4日(金) 蒜山I～III合同フィールドワーク
(新庄村・森林セラピー基地)

5日(土) 3年進研マーク模試

11日(金) 漢字検定(放課後)

14日(月) スポーツVI八束小キャンプ 補助

16日(水) オープンスクール(5分短縮)

17日(木) スクールカウンセラー来校日

18日(金) スポーツVI川上小キャンプ 補助

23日(水) 人権教育講演会(6限)

24日(木) 運動器検診(5限～)

川越 まず、校長先生は3年前まで蒜校にいらっしやって、再び蒜山校地に戻ってきた、ということですが、その配属の知らせを受けたときには、どんなお気持ちでしたか？

校長 素直に嬉しかったですね。校長にも試験というものがあんなら、私に校長という仕事があるってあれじゃない、少し驚いてますね。

川越 なるほど。3年前と比べて何か変化はありましたか？

校長 特に感じているのは、学校全体でみんな前に進んでいる……という感じがすごく感じらるね。生徒主体の雰囲気も、すごく進んでいる感じがするかな。

川越 と言いますか……

校長 そうだね。やはり理由は見つけるのは簡単なんですけど、何か金銭的な問題で、ハッキリ生徒の意見を切り捨てるのではなくて、どうしたら実現できるのか、みたいな雰囲気はすごくいいよね(笑)

川越 これからの蒜校が、どんな学校になってほしい、というのはありますか？

校長 沢山の経験を積んで欲しいね。それから、先生という立場としては、「山の中に住んでいるから自分たちの教育は遅れている」と感じさせないような工夫が必要だと思うね。

川越 なるほど。やはり今コロナが流行って、世の中が少し乱れているようにも感じますが、これから社会に出ていく生徒に向けてメッセージはありますか？

校長 やっぱいろいろがA-が発達しても最後は「人」だよってこと。コロナが流行ったことで、突きつけられた問題もあるよね。リモートも最近になって話題になってきたけど、世界を見たら日本は全然遅れている。だから、日本は何でも一番と思いついてはダメ、何でも挑戦者として過して欲しいね。

川越 ICTの活用という中でも、やはり「人との繋がり」は大切なんですね。

校長 そうそう。最終的には、すべてICTになるから、「人との繋がり」は大切にしたいな。



川越 蒜校に配属、という知らせを聞いて、どう思いましたか？

和田 「キターッ……！」って感じだよ(笑)。前から来てみたかったから。

川越 なるほど(笑)。なぜ来てみたかったと思っていましたでしょうか？

和田 やっぱ、まだ知らない土地で、知らない人間と触れ合って、知らない自分と出会いたいよね(笑)。また、「商業」という枠に収まるのではなくて、いろんな意味で勝負したい。

川越 名言出ましたね(笑)。「まだ知らない土地で、知らない人間と触れ合って、知らない自分と出会いたいよね」……勉強になります(笑)。何かこの土地で蒜校の生徒と出会って、「知らなかった何か」の光は見えてきましたか？

和田 そうだね。これは、学校で過している感じもよんだけど、みんなの大人としてのかな。これはすごくいいことだね(笑)

川越 なるほど。そんな「おとなしい生徒」に伝えたいことはありますか(笑)？

和田 それは、どの学校でもそうだけど、やっぱり自分の学校に誇りをもって欲しいね。

川越 その誇りを胸に、このコロナ禍で生きていくため、何かメッセージはありますか？

和田 このコロナ禍を楽しめたら、人生楽しめるかな(笑)。やっぱり、いろいろなことにはあきらまらないうちだね。

川越 なるほど。現状はコロナ禍の真っ最中ですが、その中でも、和田先生が楽しみにしていることは何でしょうか？

和田 まだ、今は蒜校のことを全部知っているわけではないから、知らなかったことについて毎日気づくって、そういうことには毎日楽しいかな(笑)

川越 なるほど。毎日を充実させるにも、小さな気づきが大切なんですね。